

創造学報

Toyohashi Sozo University News



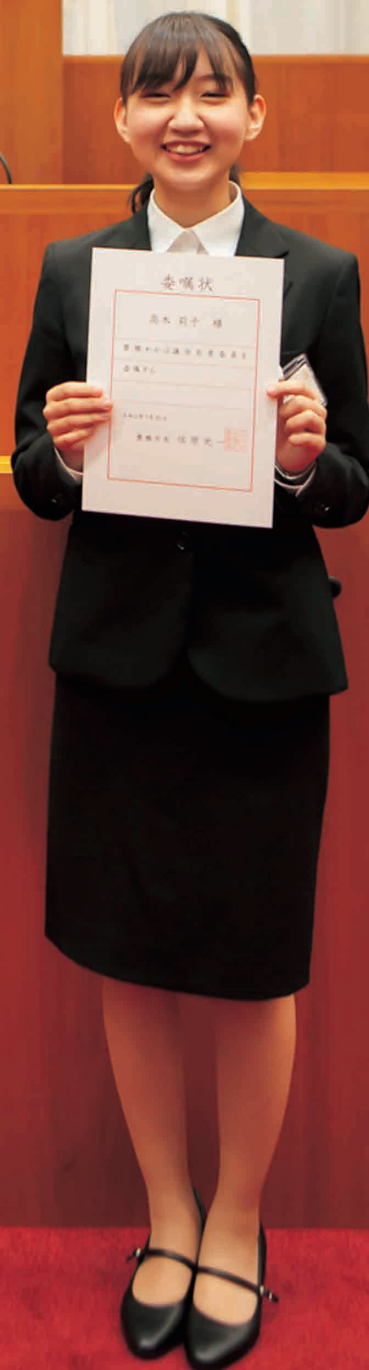
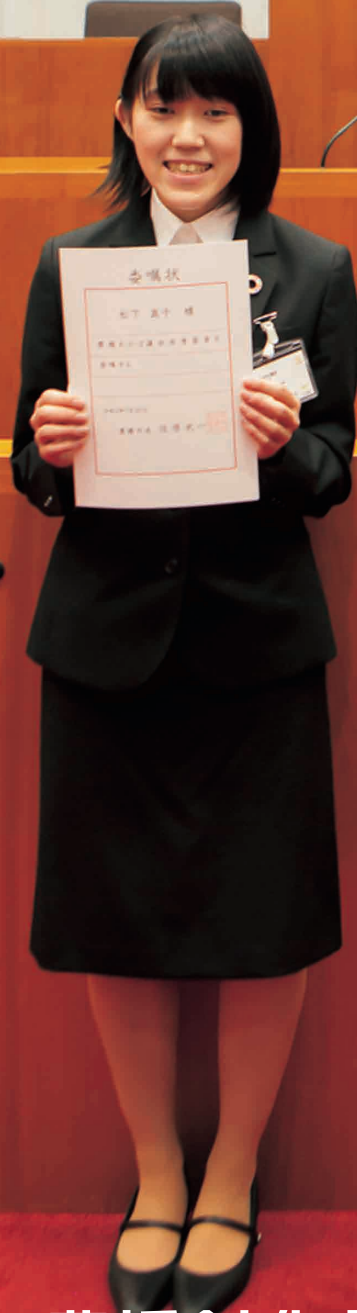
地域・職業教育・人間教育

2020.夏号
VOL.42

P1— **特集1** 地域の未来を創造する大学へ
中長期計画「WISTERIA PLAN 2029」策定

P3— **特集2** 学生に寄り添ったキャリア支援
キャリアセンターの取り組み
公務員試験支援センター

P5— 研究室から
新任教員の紹介



豊橋わかば協議会の委員に選出された
短期大学部キャリアアブランシング科の
高木莉子さんと松下真子さん



豊橋創造大学

中長期計画 WISTERIA PLAN 2029

学校法人藤ノ花学園では、このたび「WISTENAPLAN2029(第2期 中長期計画)」を取りまとめました。学校法人を取り巻く環境は、18歳人口の減少等により一層厳しさを増しており、大学・短期大学部においては、三遠南信地区における知の拠点としてあり続けるため、「地域の未来を創造する大学へ」という理念を掲げ、地域社会との協力・連携を図りながら、教育機関として更なる進化を目指していきます。

「WISTERIA PLAN 2029」 策定の背景

社会環境が変わっていくなかで、社会が求める人材も変わり、教育そのものも変わることが求められています。この予測不可能な時代に柔軟に対応し、地域から必要とされる人材を育てることが、これからの教育機関の重要な役割になります。それに対応するために本学では、中教審答申「2040年に向けたグランドデザイン」を踏まえた中長期計画を策定しました。それが「WISTERIA PLAN 2029」です。

WISTERIA (ウイステリア) の理由

「WISTERIA PLAN」のWISTERIA (ウイステリア)は、学園名にもある「藤」の英語名称です。一つひとつの小さな花がまわって一つの花房になり、多くの花房がまわって美しい藤棚をつくる姿に、大学、短大、高校の姿を重ね合わせました。ひとり一人の努力が繋がって「地域の未来を創造する」という大きな目標を達成できるよう努力していこうという思いが込められています。

教育機関としての役割

このプランの目的は、建学の精神にもとづくミッションの再定義(強みや特色を社会にわかりやすく発信)を行うとともに、外部環境や直面する課題を踏まえ、社会からの評価や信頼、支援を得る好循環の確立です。さらに、三遠南信地区における知の拠点として社会的責任を果たすために、特色ある教育・研究を全学的に取り組むことを加えました。創立者の建学の精神を礎に、若者教育の研鑽、地域社会との協力・連携を行い、さらなる進化をめざします。

時間をかけて進めたプランの立案

「WISTERIA PLAN 2029」策定に向けて動き出したのは、2019年8月でした。伊藤晴康理事長のもとに中長期計画策定会議が設置され、7ヵ月にわたる審議を経て、翌年2月に最終報告をまとめ、3月の理事会で中長期計画を決定。効率よく効果的に活用する法人運営を実現するために大学、短大、高校の資源をあらためて見直し、経営母体として学園の取り組みをまとめました。2014年に第1次中期計画を立てており、今回は第2次中長期計画になります。

ビジョンの基本理念

「WISTERIA PLAN 2029」は2029年までの学園の在り方の指針となるもので、本学の建学の精神「誠をもって勤儉譲を行え」を基盤として計画をまとめています。「勤勉さを保ち、私利私欲を抑え、公共のために尽くすということです」と伊藤晴康理事長。「この精神を基に、実践的教育を現代に生かし、地域とともに高度教育を行い、次の世代の担い手となる創造性豊かな若人の育成をめざしてまいります」と意気込みを語りました。

プランの特徴

「地域の未来を創造する」は、学園将来構想のテーマ。その実現のために、専門知識や専門技能をもち地域社会で活躍できる人材の育成をめざします。遠山直人企画室長は、「地域で学ぶ(地域と知の連携を行う)」「地域を牽引する(地域の次世代リーダーを育成する)」「地域とともにある(地域社会に開かれた教育機関)」という学園の将来構想のもと、基本戦略と重点項目を定め、各事業を展開していくことが大切だと語りました。



▲中長期計画について説明する伊藤理事長



▲「WISTERIA PLAN2029」検討の様子



▲「二宮尊徳が不退転の意思で成し遂げた農村復興を手本に、学園上げて計画の実行に取り組んでまいります」伊藤晴康理事長（右）と遠山直人企画室長（左）。



「WISTERIA PLAN 2029」 の実現に向けて

これらの学園将来構想はこれまで
も様々な形で取り組んできており、特
に「地域連携（社会貢献）の推進」
においては、成果をあげています。
「WISTERIA PLANのテーマである
地域の未来を創造する大学としてご

期待に応えられるように、地域の活性化
と発展に貢献してまいります」と伊藤晴
康理事長。基本戦略を着実に推し進
めながら、建学の精神の元となった二宮
尊徳の農村復興事業の精神にならい、
自分たちの力で地域の明るい未来を創
造する大学をめざします。

2040年に向けたグランドデザイン（中央教育審議会答申）

WISTERIA PLAN 2029
（グランド・ビジョン）

基本方針
（アクションプラン）

建学の精神

誠をもって勤儉讓を行え

～勤勉さを保ち、私利私欲を抑え、公共のために尽くす～

基本理念

実践的教育を現代に生かし、地域とともに高度の教育を行
い、次の世代の担い手となる創造性豊かな若人を育成する
ことを目的とする。

学園将来構想

～地域の未来を創造する～

専門知識や専門技能を有し、地域社会で活躍できる人材の育成

I 地域で学ぶ（地域と知の連携を行う）

地域社会や職業との繋がりを理解する教育の実践

II 地域を牽引する（地域の次世代リーダーを育成する）

地域の成長分野をリードする人材の育成

III 地域とともにある（地域社会に開かれた教育機関）

チームで地域課題に取り組む教育の実践

豊橋創造大学・豊橋創造大学短期大学部

基本戦略

- 学生の確保と社会人学び直し事業の展開
- 教育の充実
- 研究の充実
- 地域連携（社会貢献）の推進
- 組織の運営と人材の育成

藤ノ花女子高等学校

基本戦略

- 生徒数の確保
- 教育の充実
- 地域連携（社会貢献）の推進
- 組織の運営と人材の育成



▲市民大学トラム、カラダ喜び健康講座、特定研修施設との連携講座など、地域の方々に向けた無料講座を開講しています



▲のんほいパークとの相互協力に関する確認書に調印（2019年）



▲豊川における防災の啓発や水辺利用の促進などを国土交通省と連携・協力（2018年）



▲豊川市民病院との連携・協力に関する協定書の調印式（2016年）

一人ひとりの学生に 寄り添った「キャリア支援」

就職活動をサポートする「キャリアセンター」

学生たちの就職指導を担当するキャリアセンターでは、5人の職員が、学生一人ひとりと丁寧に向き合い、きめ細やかな「キャリア支援」を行っています。今年、新型コロナウイルスの影響で難しい就職活動のスタートとなりましたが、オンラインによる面談指導や就職ガイダンスを実施し、学生たちが自らの進路を考え、社会人としての基礎的な力を高められるよう全力でサポートしています。

新しくキャリアセンター長に就任した綱島剛センター長に聞きました。



「キャリア支援」と「キャリア教育」の両立をめざす

今年度は、新しいキャリアセンター長のもと、これまでの「キャリア支援」をさらに強化していき、さまざまな目標を立てて取り組んでいます。本学のキャリアセンターがめざす「キャリア支援」について、綱島剛新センター長に聞きました。

大学として一貫した「キャリア支援」と学科の特色を生かした「キャリア教育」を

本学は、地元の優良中小企業への就職率の高さが強みですが、今後はさらに強化していきます。そのためにも入学時から系統立てた「キャリア支援」を充実させ、就職後も定着が持続する「就業力」を育成したいと考えています。たとえば女子学生の場合、社会に出て5年が過ぎると、結婚し仕事を続けてキャリアを積むか、結婚を機に退職するかで迷うことがあります。そのとき、自分の未来を描いたビジョンを達成できるよう、就職後の3～5年さらに10年後のロードマップが

描けるよう指導を行っていかれると思っています。

そのためには、就職先とのマッチングが重要です。医療従事者をめざす学生たちが職場を選ぶ場合も同じです。勤務先となる病院を選ぶ際、急性期、回復期、慢性期、終末期と、担う病気のステージによって、求められるスキルも異なります。幅広い対象に向き合うか、あるいは特定の対象を専門とするかは、職場によって大きく異なります。

そこを見定めるためにカウンセリングを行い、学生一人ひとりと丁寧に向き合い

指導することが求められます。

また、有名企業や難関企業にも目を向けさせたいと考え、「難関企業突破対策」といった特別講座を設け、チャレンジ精神や、やる気のある学生を応援したい。そのための準備も進めていきます。

キャリア教育は、学科ごとに取り組みの方針があり、講義と連動しています。学生は、専門性を生かし教員と二人三脚で質を高めていき、大学として一貫した「キャリア支援」と学科の特色を生かした「キャリア教育」に取り組んでいきたいと考えています。

「キャリア支援」と「キャリア教育」の充実に向けた目標

「就職支援中心型」から「キャリア教育重視型」へ

就職活動に直結した支援はもちろんのこと、「キャリア教育」に力を入れ、入学後早い段階からキャリア教育に取り組んでいくよう工夫する。

「キャリア教育」と「キャリア支援」の連携を強化

学部・学科の教育課程を通じて行われる「キャリア教育」と学生の就職をサポートする「キャリア支援」の両者の連携をはかり、自ら考え判断し行動する人材育成をめざす。

「キャリア支援」における学内外の連携体制の強化

学内関係部門との連携をはじめ、卒業生や企業など外部機関との連携を強化する。

「就職支援プログラム」の充実

有名・難関企業への就職実績の確立をめざす学生が必要とする「就職支援プログラム（有名・難関企業をめざす『学生向けプログラム』、『就活チャレンジ塾』など）」を施策し、個人相談の質を向上させる。各種専門職（看護・医療・保育）をめざす学生、資格取得をめざす学生の支援強化にも取り組む。



キャリアセンターと連携し学生たちを支援

公務員試験支援センター

本学では、キャリアセンター事務室内に開設した「公務員試験支援センター」で、公務員を志望する学生へ「公務員試験受験対策講座」を無料で実施しています。「公務員試験支援センター」では、本学専任教員が学生一人ひとりの質問に丁寧な個別指導で対応

し、実際の受験指導まで行っています。近年、公務員試験に導入され始めたSPI試験や時事問題にも対応しています。当センターは学内にあり、無料で受講できることから、時間的にも経済的にも学生の負担が軽くなり、取り組みやすい環境があることも大きな魅力です。



オンラインによるキャリア指導

新型コロナウイルスの影響で、各地で就職活動イベントが中止となる中、本学ではオンラインによる「面談指導」や「就職ガイダンス」を行ってきました。オンラインでの参加率は、大学でも短大でもほぼ100%。オンラインの開催によって普段参加できない交流が可能となり、日時、会場に拘束されないからこそ繋がる機会も増えていくというメリッ

トがあります。オンラインなら、参加できなかった学生へも時間差で個別指導できます。新しい日常の中では、オンラインによるキャリア指導が当たり前となり、定着していくと考えられます。7月からは通常の対面授業も始まり、これからは「オンライン+対面」のスタイルで、学生たちのスキルアップと「キャリア支援・教育」を行っていきます。



なりたい公務員になるためにバックアップ！ 公務員試験支援センター



伊藤 圭一
センター長
キャリアプランニング
科准教授

公務員試験の新しい傾向にも 対応し、効率よく、受験指導も徹底

公務員試験支援センターでは、基礎対策講座から実践対策講座まで、いろいろなレベルの講座を用意して、基礎から最終的な対策まで行っています。担当も専任教員のため、きめ細かな対応ができます。

また、各学科の特性を踏まえた講座を設けています。病院等の採用試験にはSPI（基礎力と性格を判断する適性検

査)を用いる場合が多いため、対策講座と模試を用意しています。大学生向け、短大生向け講座を用意して学生の力を伸ばす工夫をしています。

センターも3年目に入りました。受講料が無料で、学内に教師がいることが本学の強みです。希望していた公務員になり、社会で活躍する卒業生たちが増えています。

卒業生の声



**豊川市民病院に
就職**
川合 真央さん
保健医療学部
理学療法学科

「専門の知識だけでなく一般教養の学力も問われることから公務員対策講座を受講しました。志望病院の試験にマッチした講座を選択でき、自分のペースで効率よく学ぶことができました」



**豊橋市役所に
就職**
鈴木 夏海さん
短期大学部
キャリアプランニング科

「授業でまちづくり活動に参加したことが豊橋市役所に就職したいというきっかけになりました。1年次から公務員試験の演習等を学べたおかげで、万全な就職対策のうえで挑戦できました」



公立園に就職
寺園 未悠さん
短期大学部
幼児教育・保育科

「専門の授業に加え、公務員試験を突破するために、公務員試験対策講座を利用しました。実習等で忙しい中、効率よく勉強できるようにアドバイスをもらい、解き方のコツも学び、挑戦しました」

●保健医療学部 理学療法学科

侵襲により受けた骨格筋機能低下に対する リハビリテーションの構築に取り組む

生体が感染症にかかったり大きなケガを負ったりすることを侵襲といい、侵襲を受けると人は自分の身体を守ろうと様々な反応を示します。そのとき必要なエネルギーは、一部体の筋肉や脂肪を分解して作られます。この分解の過程を異化作用といいます。私はこの侵襲によって損なわれる身体の機能やその機序について研究をしています。急性期の病院で治療を受けた重症患者さんでは、病気やケガが治っても身体を支える

骨格筋の減弱や精神的な落ち込みの回復にとても時間を要することが多く、退院した後も元の日常生活に戻れない方がいます。また高齢者では短期間の入院や軽微な侵襲で驚くほど体力が落ち、転倒しやすくなったり要介護状態に陥ったりします。現在、このような病状にある人たちの疫学調査や背景にあるメカニズムや細胞内シグナル伝達系の解明、さらに身体機能回復を促す理学療法や栄養療法の構築に取り組んでいます。

飯田有輝

保健医療学部 理学療法学科 教授
博士(リハビリテーション療法学)。名古屋大学大学院で博士号を取得。厚生連海南病院リハビリテーション科、藤田医科大学医学部客員講師を経て現職。



●保健医療学部 看護学科

次世代を育成する小児看護学 子どもと家族の「育つ」を支援

数年にわたってファミリー・サポート・センター事業に関わる研究をしています。ファミリー・サポート・センターにおける子育て支援は、従来の子育て支援の仕組みでは対応が困難な依頼に対して柔軟に対応できることが特徴の事業です。有償ボランティア活動でもある子育て支援に注目し、支援者の行動能力を明らかにし、それに基づいた研修プログラムの作成を目指しています。

最初に利用者である親、サポーター、コーディネーターに対して面接調査を

行い、まずは現状と認識、課題を明らかにしました。次に、サポーター、アドバイザーそれぞれの病児・病後児対応の現状と預かりの課題を明らかにしてきました。その結果アドバイザーの支援者としての調整能力の構造が見えてきました。

昨年度は全国の病児・病後児対応を行っているファミリー・サポート・センターのアドバイザーを対象に質問紙調査を実施し、結果を現在分析中です。回答してくださった全国のアドバイザーの皆さんの実践に圧倒されています。

中久喜町子

保健医療学部 看護学科 教授
神奈川、山梨、東京都で教員生活を経験後、前任校は故郷の青森県で、今回は初めての東海地方での教員生活となる。臨床で経験し実感したことをエネルギーに学生と向き合う。



●経営学部 経営学科

会計研究室(若原ゼミ)で 会計を通じて社会の仕組みを知る



会計研究室では、主に企業会計を取り扱い、企業の財政状態や経営状況をお金という物差しで明らかにし、会計

の社会的役割や新たな会計基準の導入・見直し等について、また、経済活動のグローバル化に伴う会計基準の国際化について研究します。会計研究室には学部生7名(4年生2名、3年生5名)が在籍し、学業および課外活動に真摯に取り組んでいます。実践的な能力を身につけることを目的に、自ら関心を抱いたテーマについて学修した会計学や情報コミュニケーション技術等を活かして調査・分析による探求を行っています。

若原憲男

経営学部 経営学科 講師
愛知県海部郡蟹江町出身。社会人経験(公的機関や特別民間法人における監査・財務分析業務等)を経て2019年4月より経営学部講師。主に会計学の科目を担当。好きな言葉は「切磋琢磨」。

具体的には、企業の実態を数値に基づいて把握するために必要となる財務諸表の作成方法や経営分析の手法、国際会計の動向等についても学んでいます。ゼミ生の興味のあるテーマには、国際会計基準と日本基準の比較、製造業(自動車業界など)における財務諸表分析等が挙げられます。こうした学びとともに「個」の努力だけでは得られない仲間との協力、関係する人々との協同を通して社会で通じる力を養っています。

●短期大学部 幼児教育・保育科

共に育ち合う 子どもたちへの支援とは

人は生まれた時、ぼんやりとしか見えていません。それでも赤ちゃんは好奇心いっぱい外の世界を見ようとしています。触ったり舐めてみたり、音を聞いたり他の感覚も使いながら徐々に見えるようになっていきます。しかし、何らかの理由で見ようとする意欲を失ってしまえば、見る力は育ちません。脳の視覚に関わる部位の発達が阻害されてしまうからです。こうしたことを保育者が知らずにいる

ことで、子どもの発達の機会を奪ってしまうことが起こりかねません。保育所等の乳幼児期を過ごす場所では、様々な特性を持った子どもたちがいます。どの子ども自分らしさを発揮しながら、共に育ち合えるように保育者は支援していかなければなりません。共に育ち合う子どもたちへの保育者としての支援とは何か、適切な支援ができる保育者になるために何を学ぶべきなのかを研究しています。



熊谷享子

短期大学部 幼児教育・保育科 准教授
愛知県出身。東京学芸大学大学院、北海道大学大学院修了。障害児生理心理学を研究していたが、子育てや保育士の経験を経て、保育者養成の道に。

●短期大学部 キャリアプランニング科

地域住民と寄り添う 医療事務職員を目指して



矢島ゼミでは、将来の専門職としての医療事務職員となるべく、診療報酬制度のしくみ・特徴を研究し、さらに2年に1回行われる診療報酬制度改定の趣旨及び方向性も研究しています。ゼミ生は希望の医療事務職員をめざしてそれぞれの課題について1人1人調査・研究しています。それらの結果について、ゼミ生同志が意見交換できる場として研究発表会も行っています。また、ゼミ生全員で個別の病院研究も行い、実際に病院を訪問し研究した結果としての疑問点など

矢島明彦

短期大学部 キャリアプランニング科 講師
長野県内の医療機関に勤務の後、2017年4月、本学赴任。医療事務職員経験者の立場から、地域住民を支える事が出来る医療事務職員の養成に携わっている。専門は「病院管理」「診療報酬制度」

を現場スタッフに直接聞き、さらなる研究成果の向上に繋げています。

個人研究では、メインテーマとして「診療報酬制度と医療機関経営の関わり」について、特に「医療費未収金と医療機関経営の関連性」「外国人医療費問題」について研究しています。サブテーマとしては「短期大学におけるカリキュラム論」「高等教育における短期大学のあるべき姿・方向性」についての研究を開始しています。

2020年度新任教員紹介

保健医療学部 理学療法学科

教授 **飯田有輝** Iida Yuki

研究分野 / 内科系理学療法、侵襲制御医学、リハビリテーション栄養

保健医療学部 看護学科

教授 **鈴木知代** Suzuki Tomoyo

研究分野 / 看護学、地域看護学、公衆衛生看護学

保健医療学部 看護学科

准教授 **永井あけみ** Nagai Akemi

研究分野 / 看護学、脳科学

保健医療学部 理学療法学科

准教授 **船井純平** Funai Jumpei

研究分野 / 人文学、文学、英米、英語圏文学

保健医療学部 看護学科

講師 **大塚知良** Otsuka Kazuyoshi

研究分野 / 臨床看護学、生命、健康、医療情報学、教育学

保健医療学部 理学療法学科

助教 **大橋和也** Ohashi Kazuya

研究分野 / ライフサイエンス、生理学、細胞生物学、筋生理

保健医療学部 看護学科

助教 **小山順子** Koyama Junko

研究分野 / 看護学、健康科学



短期大学部キャリアプランニング科の学生2人が豊橋市の「豊橋わかば議会」の委員として活動

本学短期大学部キャリアプランニング科の高木莉子さんと松下真子さんが、今年から始まった豊橋市の「豊橋わかば議会」の委員となり、7月30日に行われた第1回議会に参加しました。委員は、公募で選ばれた高校生10人、大学生8人、専門学校生と社会人が各1人の計20人。若者たちが委員となり、若者の視点から豊橋をよりよくなる提案を出し合い、実現化をめざします。

所信表明で高木さんは、「豊橋の新しい良さを見つけて伸ばし、みんなに好きになって欲しい」と述べ、松下さんは、「まだ知られていない豊橋の魅力を探

し伝えていきたい」と思いを語りました。

今後は、市をよくするには何が必要かを考えて政策を立て検討し、11月、市長に政策案を提出します。



▲佐原市長とともに(豊橋市役所西館8階の議場で)



▲高木莉子さん

▲松下真子さん

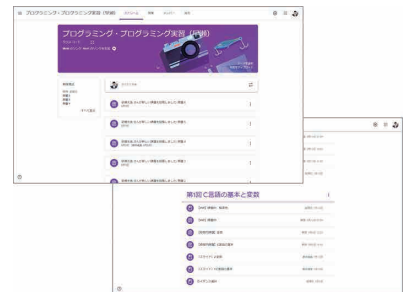
大学での教育を止めない! 遠隔授業の実施

コロナ禍において本学では、Google Meetを活用した双方向型のオンライン講義を行い、学生のための学びの継続を提供しました。「プログラミング」の講義では、双方向のメリットを活かし、単なる説明のみではなく、実際のプログラムコードの画面を提示しながらつまづきやすい箇所を示したりコードの書き方を示したりしました。学生には、エラーが出た場合には画面を共有してもらい、間違いの箇所を指摘して学修を進めました。

遠隔と面接授業について中間アンケートを行ったところ、「遠隔授業の方が良い」と「どちらかといえば遠隔授業の

方が良い」が約67%でした。学生たちは「遠隔でも問題なく授業が理解できている」「通学時間の短縮が図れる」「コメントで反応できるので気軽に質問できる」といった遠隔の良さを挙げながらも「コミュニケーションが取りにくい」「授業を受けたという気にならない」「発言がしにくい」「PCスペックによって受講が困難な場合がある」などの意見もありました。双方向型においては「遅れた際について行けなくなる」「質問がすぐにできない」といった問題点も挙がりました。こうした意見を学科全体で共有し、よりよい授業にするよう活用したいと考えています。

経営学部経営学科 准教授 早瀬光浩



▲オンライン学習の管理にはGoogle Classroomを使用。科目ごとに資料の配布、課題の出題と採点、フィードバックの提供などを行うことができる。

新型コロナウイルス感染予防のため、以下の行事は中止となりました。

2020年度 公開講座等

豊橋市との連携事業

豊橋創造大学公開講座「市民大学トラム」

テーマ/「変革するビジネス社会を生き抜くために」

～マーケティング・企業経営からAIまで～

第1回6/6(土)、第2回6/20(土) 第3回7/4(土)、第4回7/11(土)

2020年度創造祭(大学祭)

10/24(土)、10/25(日)

豊橋市保健所との連携事業

とよはし健康宣言応援事業

働き世代のための

「カラダ喜ぶ健康講座」

第1回9/1(火)、第2回11/25(水)

豊川市民病院との連携事業

「健康なるほど講座」

9/13(土)



<http://www.sozo.ac.jp>

保健医療学部 理学療法学科
保健医療学部 看護学科
経営学部 経営学科

短期大学部 幼児教育・保育科
短期大学部 キャリアプランニング科
短期大学部 専攻科 福祉専攻
短期大学部 公務員別科

大学院 経営情報学研究科 起業・経営情報専攻
大学院 健康科学研究科 健康科学専攻